

二宮小学校だより10月



令和2年
10月30日 発行

10月26日(月)と30日(金)の授業参観では、多くの方に学級や子どもたちの様子をご覧いただきました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区に分かれての参観、廊下からの参観とさせていただきました。また、例年ですと、新しい学年が始まって間もない時期に学級や子どもたちの様子をご覧いただいておりますが、半年余りが経過してのこの時期に1回目の実施となりました。保護者の皆様には、例年とは異なる形での参観、時期をずらしての実施にご理解いただきましたことに心より感謝申し上げます。

10月の学習より

1年生は国語で「くじらぐも」の学習をしました。「天までとどけ、一、二、三。」のかけ声とともに、1年生と先生が大きなくじらぐもに乗るお話です。なんと、二宮小学校の1年生と先生も、お話と同じように大きなくじらぐもに乗りました。さあ、このくもに乗って、うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ。1年生のみんなは、くもの上からどんな景色を眺めているのでしょうか。



3年生の総合的な学習「二宮のすてきをもっと見つけよう」を紹介しします。1学期は「わたしたちのまち二宮」で、町のすてきなところをポスターや新聞、絵本、クイズなどにまとめ、伝えました。その際、子どもたちは、二宮町のすてきなところをもっと多くの人に知ってほしい、たくさんの人に二宮町に来てほしい、という願いをもちました。

そこで2学期は、「菜の花ウォッチング」「吾妻山」「川勾神社」などに焦点を当て、すてきなところを知ってもらうにはどうしたらよいか考えを出し合いました。その一つとして、「菜の花ウォッチング」で飾る菜の花を育てる取り組みを現在しています。3年生のアイディアが実を結び、たくさんの人が二宮町のよさを知り、町に来てくれるようになるといいですね。



5年生が野外活動教室に出かけました

10月9日(金)に、5年生が、県立足柄ふれあいの村に出かけ、野外活動教室に参加してきました。

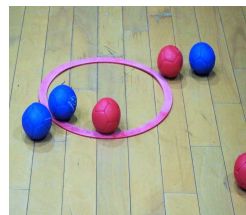
年度当初は、9日(金)から10日(土)の1泊2日で予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ではありましたが日帰りでの実施としました。

この野外活動教室には、5年生に大切にしてほしい5つの目標があります。

- ①「礼節」自ら進んで挨拶しよう。
- ②「自主」自ら進んで行動しよう。
- ③「責任」責任をもって行動しよう。
- ④「協力」お互いに助け合って行動しよう。
- ⑤「自然愛護」自然を大切にしよう。自然に親しもう。

当日は、あいにくの天気でしたが、この5つの目標を通して達成感を味わってほしいと思い、野外活動教室へ出発しました。

午前のプログラムは、パラピンピックの競技でもあるポッチャの体験です。赤と青、2つのチームに分かれ、円の中に自分たちのチームの球をどれだけ入れられるかで競います。自分の投げた球で相手の球



をはじき出す、また、味方の球を後ろから押して円の中に入れる、改めて奥が深く難しい競技であることを実感しました。子どもたちはチームで「協力」し合いながらゲームを進めました。

午後のプログラムは、豊かな「自然」の中を歩いてコテージに向かい、その中でのクラフト体験です。木の実や枝などをうまく使いながら、そして、思い思いの絵を描きながら作りました。



コテージを使った後は、「自ら進んで」掃除をし、「責任」をもって部屋を元のようきれいにしていました。

そして、いよいよ足柄ふれあいの村をあとにする時、管理棟に向かってお礼の「挨拶」をする5年生の姿がありました。

5つの目標。日帰りの活動でしたが、それに向かって行動する5年生の姿を見ることができました。

